

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月11日

【四半期会計期間】 第20期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 マークラインズ株式会社

【英訳名】 MarkLines Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 酒井 誠

【本店の所在の場所】 東京都千代田区永田町2丁目11番1号

【電話番号】 03-4241-3901(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 坂井 建一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区永田町2丁目11番1号

【電話番号】 03-4241-3901(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 坂井 建一

【縦覧に供する場所】 マークラインズ株式会社名古屋支社  
(愛知県名古屋市中区錦一丁目20番25号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第3四半期 連結累計期間	第20期 第3四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	1,793,794	1,964,997	2,380,655
経常利益 (千円)	655,970	696,036	884,916
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	454,615	426,904	611,942
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	449,423	442,637	609,827
純資産額 (千円)	2,345,561	2,718,500	2,509,485
総資産額 (千円)	3,248,213	3,738,480	3,484,500
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	34.57	32.38	46.53
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	34.39	32.28	46.29
自己資本比率 (%)	72.2	72.7	72.0

回次	第19期 第3四半期 連結会計期間	第20期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.87	11.34

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第2四半期連結会計期間において株式会社自動車ファンドを設立したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

## 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる継続的な世界経済への影響が続く中、段階的な経済活動の再開による景気の持ち直しの動きもみられ、第3四半期後半から企業活動の緩やかな改善基調が続きました。

「情報プラットフォーム」事業については、各コンテンツ強化の一環として、技術レポートをドイツSpringer社との提携により増強し、同時にドイツ大手自動車メーカー3社のモデルチェンジ情報の掲載を開始しました。さらにOEM情報において、駆動モーター工場の検索機能追加などにも継続して取り組んで参りました。第2四半期以降もコロナの影響が続く中、予算削減のため退会を希望する企業が増加したため、退会阻止に向け「継続特典制度」の利用促進などのサポートを進めました(当第3四半期末時点：全顧客利用率72.1%達成)。また、情報へのニーズの高まりが続いている中、コロナを転機に対面営業からオンライン営業にシフトし、日本から海外顧客への営業活動も柔軟に対応したため、海外の売上高は前年同期比2桁の伸びとなりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における契約社数は、前連結会計年度末から253社増加(前年同期292社増加)の3,519社となりました。

コンサルティング事業については、1月から「コスト比較分析サービス」が比較的堅調に推移し、9月には自動車メーカーから大型案件の売上があったものの、第2四半期のコロナの影響のすべてを吸収できず売上高は前年同期を下回る結果となりました。人材紹介事業については、引合いはあるものの、4月以降の予算削減の影響が長引き、売上高は低調に推移しました。LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業については、売上高は前年同期比微増の結果となりました。ベンチマーキング関連事業については、車両・部品調達代行サービスにおいて産業用エンジンなどの受注が引き続き好調で前年同期比倍増の売上高となりました。分解調査データ販売においては、電動車用駆動モーター、インバーター、Tesla Model Y分解調査レポートの売上で前年同期を大きく上回る結果となりました。プロモーション広告事業(LINES)については、コロナの影響で実際の展示会が中止となる中で、オンライン展示会に注目が集ったこと、またリピーターによる受注から売上が伸張しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,964百万円(前年同期比9.5%増加)、営業利益は、698百万円(前年同期比6.7%増加)、経常利益は、696百万円(前年同期比6.1%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有有価証券の株価下落による有価証券評価損87百万円を洗替法に基づき特別損失に計上したことにより426百万円となりました。(前年同期比6.1%減少)。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

なお、これまで「その他」に含まれていた「ベンチマーキング関連事業」は量的な重要性が高まったことから独立したセグメントとして取り扱うこととしました。

○「情報プラットフォーム」事業：売上高1,428百万円(前年同期比10.8%増加)、セグメント利益(営業利益)802百万円(前年同期比14.3%増加)

当第3四半期連結累計期間における契約社数は前連結会計年度末から253社増加し、3,519社となりました。自動車関連企業の業績悪化の影響が続く中、4月から5月にかけて次契約を解約したい顧客が相次ぎ、8月の退会社数が増加しました。一方で、日本から海外企業へのオンラインによるコンタクトを実施しコロナの影響の少ない地域へ継続して営業活動を進めました。また欧州において営業スタッフを採用する等、人員増強を進めた結果、海外売上は全地域において前年同期比2桁増の伸びとなりました。

## 「情報プラットフォーム事業」地域別売上高

地域	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日) (百万円)	増減率(%)
日本	716	758	+5.9
中国	152	181	+19.0
アジア	182	213	+16.9
北米	113	131	+15.9
欧州	120	138	+15.1
その他	3	3	+18.3
合計	1,288	1,428	+10.8

○コンサルティング事業：売上高150百万円(前年同期比8.9%減少)、セグメント利益(営業利益)27百万円(前年同期比46.2%減少)

当第3四半期連結累計期間のコンサルティング事業は、「コスト比較分析サービス」が比較的好調でしたが、コロナの影響から自動車関連企業の業況悪化により引き合いが減少し、第2四半期の売上高が伸び悩みました。第3四半期に入りディーゼルエンジンのコスト分析調査案件等が寄与し売上は回復傾向にありましたが、前年同期を下回る結果となりました。

○人材紹介事業：売上高65百万円(前年同期比38.0%減少)、セグメント利益(営業利益)12百万円(前年同期比69.1%減少)

当第3四半期連結累計期間の人材紹介事業は、第3四半期には乗用車メーカーからの引合い案件は比較的回復してきましたが、第2四半期から続く人材採用凍結の影響が残り、成約件数は33件(前年同期45件)と低調に推移しました。

○LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業：売上高97百万円(前年同期比3.1%増加)、セグメント利益(営業利益)22百万円(前年同期比13.7%増加)

当第3四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業は、予算削減が続く中、価格面での優位性から一部の顧客が競合他社から乗換えたこと、また既存顧客からの追加データ購入があったことにより売上高は前年同期比微増となりました。

○ベンチマーキング関連事業：売上高199百万円(前年同期比65.2%増加)、セグメント利益(営業利益)50百万円(前年同期比60.5%増加)

当第3四半期連結累計期間のベンチマーキング関連事業は、神奈川県厚木市にベンチマーキング関連事業の事業所を開設し、迅速かつ効率的に業務を進めました。車両・部品調達代行サービスにおいては電動車関連部品や車両本体の受注、9月に入り産業用エンジン3基を受注する等、旺盛な引合いが続き売上高は前年同期比約2倍となりました。分解調査データ販売においては電動車用駆動モーター、インバーター比較データの販売が好調に推移しました。第3四半期に入り、大手部品メーカーへのTesla Model Y分解調査レポート販売が売上高の伸張に大きく寄与しました。

○その他(プロモーション広告事業)：売上高23百万円(前年同期比29.3%増加)、セグメント利益(営業利益)15百万円(前年同期比30.9%増加)

その他(プロモーション広告事業)は実際の展示会の開催が中止となる中、プロモーション広告事業への注目が高まりました。また、オンライン展示会で出典した52社の企業の中からも受注するなど売上に貢献しました。既存顧客のリピート利用も増えたため、売上高は前年同期比大幅に増加しました。

## 「情報プラットフォーム」以外の各事業別売上高

事業名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日) (百万円)	増減率(%)
コンサルティング事業	165	150	8.9
人材紹介事業	105	65	38.0
LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予測情報)販売事業	94	97	+3.1
ベンチマーキング関連事業	120	199	+65.2
プロモーション広告事業	18	23	+29.3
合計	505	536	+6.3

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し、253百万円増加の3,738百万円となりました。この増加の主な内訳は、現金及び預金の150百万円増加、売掛金の55百万円及び繰延税金資産の26百万円増加等であり、一方、減少の内訳は投資有価証券の59百万円減少等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し、44百万円増加の1,019百万円となりました。この増加の主な内訳は、前受金の78百万円及び賞与引当金32百万円の増加等であり、一方、減少の内訳は未払法人税等の50百万円及び預り金11百万円の減少等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較し、209百万円増加の2,718百万円となりました。この増加の主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益426百万円の計上及び配当金237百万円の支払いによる利益剰余金の189百万円増加、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金のそれぞれ1百万円の増加等であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。



### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,648,000
計	27,648,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,187,200	13,187,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	13,187,200	13,187,200		

(注) 提出日現在発行数には、2020年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	-	13,187,200	-	368,551	-	286,358

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,183,800	131,838	
単元未満株式	普通株式 3,200		
発行済株式総数	13,187,200		
総株主の議決権		131,838	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には自己保有株式72株が含まれております。

## 【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
マークラインズ株式会社	東京都千代田区 永田町二丁目11 番1号	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,883,357	3,033,900
受取手形	-	2,337
売掛金	87,536	142,589
商品	364	5,142
前払費用	16,638	25,423
その他	18,826	19,011
貸倒引当金	731	1,528
流動資産合計	3,005,992	3,226,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,197	54,900
減価償却累計額	17,891	11,493
建物及び構築物(純額)	25,305	43,407
土地	5,634	5,634
その他	29,639	38,010
減価償却累計額	22,816	25,809
その他(純額)	6,823	12,200
有形固定資産合計	37,763	61,242
無形固定資産		
ソフトウェア	95,711	72,028
無形固定資産合計	95,711	72,028
投資その他の資産		
投資有価証券	226,914	167,345
長期預金	-	46,560
敷金	82,068	99,803
繰延税金資産	34,344	60,709
その他	2,954	4,796
貸倒引当金	1,250	881
投資その他の資産合計	345,032	378,333
固定資産合計	478,507	511,604
資産合計	3,484,500	3,738,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,162	5,166
未払金	22,864	31,901
未払費用	36,694	24,613
未払法人税等	161,503	110,946
未払消費税等	33,852	28,411
前受金	681,444	759,943
預り金	17,108	5,616
賞与引当金	11,635	44,593
その他	750	4,351
流動負債合計	975,015	1,015,545
固定負債		
退職給付に係る負債	-	4,435
固定負債合計	-	4,435
負債合計	975,015	1,019,980
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	366,791	368,551
資本剰余金	284,598	286,358
利益剰余金	1,913,724	2,103,580
自己株式	182	275
株主資本合計	2,564,932	2,758,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,476	35,397
為替換算調整勘定	970	4,315
その他の包括利益累計額合計	55,447	39,713
純資産合計	2,509,485	2,718,500
負債純資産合計	3,484,500	3,738,480

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,793,794	1,964,997
売上原価	581,563	664,786
売上総利益	1,212,231	1,300,211
販売費及び一般管理費		
販売促進費	11,217	5,982
販売手数料	1,965	1,260
広告宣伝費	8,848	7,467
役員報酬	42,268	43,292
給料及び手当	246,487	263,036
賞与引当金繰入額	26,405	25,979
退職給付費用	3,885	5,858
法定福利費	41,433	43,069
減価償却費	9,134	11,830
貸倒引当金繰入額	676	2,525
賃借料	28,928	42,420
その他	136,648	149,206
販売費及び一般管理費合計	557,901	601,930
営業利益	654,330	698,281
営業外収益		
受取利息	1,439	1,370
受取配当金	8,171	3,199
その他	1,738	3,051
営業外収益合計	11,349	7,621
営業外費用		
為替差損	9,258	9,853
その他	450	12
営業外費用合計	9,709	9,865
経常利益	655,970	696,036
特別損失		
投資有価証券評価損	-	87,068
特別損失合計	-	87,068
税金等調整前四半期純利益	655,970	608,968
法人税、住民税及び事業税	211,246	216,848
法人税等調整額	9,891	34,784
法人税等合計	201,354	182,063
四半期純利益	454,615	426,904
親会社株主に帰属する四半期純利益	454,615	426,904

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	454,615	426,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	467	19,078
為替換算調整勘定	4,723	3,345
その他の包括利益合計	5,191	15,733
四半期包括利益	449,423	442,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,423	442,637
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社自動車ファンドを連結の範囲に含めております。

(追加情報)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が徐々に縮小していきと仮定し、見積り及び判断を行っておりますが、当第3四半期連結累計期間において固定資産の減損の兆候は認識しておらず、また繰延税金資産の回収可能性について前連結会計年度末時点の判断の見直しは不要であると判断しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	32,811千円	36,833千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	197,216	15.00	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	237,048	18.00	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	「情報ブ ラット フォーム」事業	コンサル ティング 事業	人材紹介 事業	LMC Automotiv e Ltd. 製 品(市場予 測情報)販 売事業	ベンチ マーキ ング関 連事 業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,288,721	165,551	105,897	94,885	120,490	1,775,547	18,247	1,793,794	-	1,793,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,288,721	165,551	105,897	94,885	120,490	1,775,547	18,247	1,793,794	-	1,793,794
セグメント利益	702,439	51,721	39,666	19,916	31,257	845,001	11,573	856,574	202,244	654,330

(注) 1. その他は、プロモーション広告事業であります。

2. セグメント利益の調整額 202,244千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	「情報ブ ラット フォーム」事業	コンサル ティング 事業	人材紹介 事業	LMC Automotiv e Ltd. 製 品(市場予 測情報)販 売事業	ベンチ マーキ ング関 連事 業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,428,026	150,823	65,664	97,787	199,096	1,941,398	23,599	1,964,997	-	1,964,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,428,026	150,823	65,664	97,787	199,096	1,941,398	23,599	1,964,997	-	1,964,997
セグメント利益	802,925	27,829	12,241	22,638	50,183	915,817	15,147	930,965	232,684	698,281

- (注) 1. その他は、プロモーション広告事業であります。
2. セグメント利益の調整額 232,684千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。
3. 報告セグメントの変更に関する事項  
第1 四半期連結会計期間より、量的な重要性が高まったため、「その他の事業」に含めていたベンチマーキング関連事業を独立区分し、報告セグメントとしております。  
なお、前第3 四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	34.57円	32.38円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	454,615	426,904
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	454,615	426,904
普通株式の期中平均株式数(株)	13,150,165	13,184,284
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	34.39円	32.28円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	68,906	39,778
(うち新株予約権(株))	(68,906)	(39,778)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月11日

マークライnz株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩出 博男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小出 健治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマークライnz株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マークライnz株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。